

令和5年度 第1回能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議の概要

○日 時 令和5年11月24日(金)午前10時00分～11時00分

○場 所 能代山本広域交流センター第1研修室

○案 件

(1) 地方創生関係交付金事業の評価検証について【資料1】

・「木都能代」拠点整備事業計画(地方創生拠点整備交付金)

【主な意見等と回答】

意見等	回答
木の学校の利用件数が増えているが、どのような人が利用しているのか。	主にX(旧 Twitter)やインスタグラムを見て訪れる女性の方や市外からのリピーターの方の利用が増えている。
技術開発センターの利用状況のうち、R3の加工・試験等が150件と伸びているが、その要因は。	特に大きな要因はなく、毎月の実績の積み上げがたまたま大きかったと考えられる。
技術開発センターや木の学校に似た施設は能代以外にないのか。	木を展示するような施設は他地域にもあると思うが、能代のような産業や市民に特化した施設は他にないと思われる。
技術開発センターや木の学校では、具体的にどういった利用がされているのか。	ワイドベルトサンダーやカンナ盤など、約20種類の機械が設置されており、DIYとして個人の方の利用や、事業者が大型の機械を使って作業するなど、様々な形で利用されている。

(2) 第2期能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略における数値目標・重要業績評価指標(KPI)、重要検証指標の概要及び達成状況について【資料2・3】

【主な意見等と回答】

意見等	回答
<p>移住者数が増えているが、何を求めて能代市に移住したのか。</p>	<p>能代市に移住されている方の内訳として、全体の約6割が結婚を機に移住された方や子育てによるUターン関連の移住が多く、I・Jターンについても、大学卒業後の就職先が能代市という理由で移住されている方がいらっしゃる。</p>
<p>宿泊客数について、目標値を下回っているがこのままでいいのか。</p>	<p>目標設定の見直しを図るなど、どういった取組で実績を目標に近づけるか検討していかなければならないと考えている。</p>
<p>重要検証指標を見ると、R4出生数が174人とのことだが、市として、今後の高校の数や定員についてどう捉えているか。</p>	<p>出生数を踏まえた将来的な高校の数についてはまだ整理できていないが、現行の総合戦略が令和6年度に終了することから、次期総合戦略に向けた作業を進めようとしている。人口減少が進む中で、市内の小中高も含め、出生数に応じた子どもの教育環境について検討していかなければならないと考えている。</p>
<p>子育て支援センター利用者数について、出生数が減っているのに、目標が高すぎると思われる。</p>	<p>目標値の中には、率ではなく実数で設定している項目がいくつかある。人口減少社会の中で、取組によっては目標を率に変えるといった見直しもしていかなければならないと考えている。</p>
<p>出会いイベントは天空の不夜城や花火などのイベントに合わせて実施しているのか。</p>	<p>出会いイベント参加者の中には、参加していることを周りには知られたくないという方もいらっしゃるため、そうしたイベントに合わせて実施していない。</p>